

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	21-317	慶應義塾大学 加藤眞三
題名 (原題/訳)		
<p>Polyphenols in the prevention and treatment of non-alcoholic fatty liver disease: An update of preclinical and clinical studies 非アルコール性脂肪性肝疾患の予防と治療におけるポリフェノール。前臨床試験および臨床試験の最新情報</p>		
執筆者		
Hatice Merve Bayram ¹ , Fuzail Mohammed Majoo ² , Arda Ozturkcan ³		
掲載誌		
Clin Nutr ESPEN. 2021 Aug;44:1-14. doi: 10.1016/j.clnesp.2021.06.026.		
キーワード	PMID	
非アルコール性脂肪性肝疾患、ポリフェノール、サイトカイン、アディポカイン	34330452	
要 旨		
<p>背景と目的 非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) の予防と治療は、解決すべき緊急課題の一つとなっている。現在までのところ、これらの患者に対して、食事と運動に関するライフスタイルの改善が考慮されています。ポリフェノールは植物性天然物の一種で、定期的に摂取することにより、NAFLD に関連するいくつかの代謝異常のリスク低減に関連するとされている。本研究では、ポリフェノールと NAFLD の関係について、現在のアプローチで概観することを目的とした。</p> <p>方法 2018 年 1 月から 2020 年 8 月までに英語で発表されたポリフェノールと NAFLD に関する論文を対象に、包括的な文献検索を行った。本レビューに含まれるキーワード "Phenolic" OR "Polyphenol" AND "Non-Alcoholic Fatty Liver Disease" (非アルコール性脂肪肝疾患)。エディトリアル、通信、学会抄録は除外した。</p> <p>結果 異なるポリフェノールは、脂肪肝機能障害の減少に寄与する血清と肝臓の両方の炎症性サイトカインを減少させた。さらに、ポリフェノールはアディポカインの調節を改善し、肝性脂肪症を予防する可能性がある。ヒト臨床研究によると、ポリフェノールは NAFLD 患者および NAFLD につながる関連疾患に対して有望である。</p> <p>結論 前臨床試験および臨床試験から、様々なポリフェノールが、脂肪沈着および非アルコール性脂肪肝炎への進行を予防し、NAFLD を改善することが示唆された。しかし、この仮説を確認するためには、より多くの臨床研究が必要である。</p>		